



「サンゴの村宣言」SDGs プロジェクト

Green Fins (グリーンフィンズ) とは、サンゴや自然環境にやさしいダイビングやシュノーケリングの国際的なルールです。みなさんも一緒に取り組んでいきましょう！

Green Fins ガイドライン なぜ魚の餌付けをしてはいけないのでしょうか？



①魚が敵に狙われやすくなる

餌を与えられた魚は、ダイバーやシュノーケラーに近づこうと、自分のなわばりや巣を離れてしまい、敵に狙われやすくなります。

また、通常は単独で行動している種類の生物が集団で餌を食べるという不自然な行動をとるようになり、巣がより狙われやすくなります。

②サンゴのダメージにつながる

普段、藻類を食べている魚が、人間が与える餌を食べるようになり、サンゴについた藻類がどんどん育ち、表面が藻に覆われてサンゴが窒息死してしまいます。

通常、魚は藻類を食べるときにオニヒトデのような生き物の卵も食べています。餌付けによってこうした行動がなくなり、サンゴを食べる敵の数が増え、サンゴ礁へのダメージがより大きくなります。

③海洋生物の餓死につながる

ほとんどの海洋生物は、特定の食べ物を食べ、消化を助ける特定の細菌を持っています。合わない食べ物を与えられると、ふだん食べているものに合わない種類の細菌が胃の中に広がり、自然の食べ物を消化できなくなり、餓死してしまう可能性があります。

お問い合わせ：恩納村 SDGs 推進事務局（企画課内） ☎ 966-1201
sunna.sdgs@gmail.com

いい夫婦の日スペシャル「オブジェお披露目セレモニー～あいさけ2020～」

恩納村リゾートウェディング活性化協議会は11月22日、海浜公園ナビビーチにおいて、リゾートウェディングや記念日の撮影に利用できるオブジェ2作品をお披露目しました。

また、おんなの駅なかゆくい市場で商品開発された、ウェルカムドリンクやプチギフトのお披露目も行いました。

オブジェは、美術作家の翁長瞳さんが制作した「祝福の鐘」と中島聖二郎さんが制作した「Nabi Swing」。

